

合格証
明書



GODOX WeChat
公式アカウント

深圳市神牛摄影器材有限公司

所在地：深セン市宝安区福海街道塘尾社区福川工業区工場 2 棟

電話：0755-29609320(8062) FAX: 0755-25723423 メールアドレス：godox@godox.com

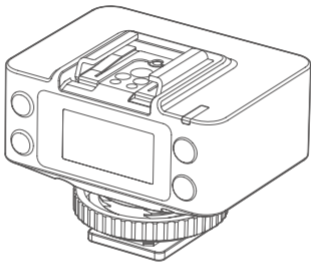
www.godox.com

Made in China | 705-XRS000-03

UK
CA CE FC



Godox



XR / XR^S

TTL ワイヤレスレシーバー

取扱説明書

重要安全指示

本製品は専門的な写真機材であり、専門知識を有する担当者のみが操作してください。製品に付属する輸送保護材および包装は使用前にすべて取り除いてください。本製品を使用する際には、以下の基本的な安全注意事項を必ず守ってください。

1. 使用前に取扱説明書をよく読み、内容を十分に理解し、安全指示に厳密に従ってください。これを怠ると、死亡または重傷、製品の破損、その他の財産損害を引き起こす恐れがあります。
2. 損傷した機器またはアクセサリは絶対に使用しないでください。修理後は、必ず専門の修理技術者による点検と正常動作の確認を受け、正常が確認できるまで使用を再開しないでください。
3. 落下、挟み込み、強い衝撃により本体外殻にひび割れが生じている場合は、直ちに使用を中止し、内部の電子部品に触れて感電しないよう十分注意してください。
4. 本機器は防水仕様ではありません。乾燥を保ち水やその他の液体に浸さないでください。換気の良い乾燥した場所に設置し、雨天、多湿、粉塵、過熱環境での使用は避けてください。機器の上に物を置いたり、液体が流れ込まないようにして危険を防止してください。
5. 許可なく分解しないでください。製品に異常がある場合は、必ず当社または認定修理担当者による点検および修理を受けてください。
6. 機器をアルコール、ガソリン、またはメタンやエタンなどの可燃性揮発性溶剤やガスの近くに置かないでください。
7. 潜在的に爆発性のある環境での使用および保管はしないでください。
8. 乾いた布で優しく清掃してください。湿った布を使用しないでください。機器が損傷する恐れがあります。
9. 本取扱説明書は厳格な試験に基づいて作成されています。設計および仕様は予告なく変更されることがあります。最新の取扱説明書および製品情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

- 10.内蔵リチウム電池搭載製品では、指定の充電器を使用し、定格電圧・温度範囲内で正しくお使いください。
- 11.一部の製品はリチウム電池で駆動しており、リチウム電池は寿命が限られており、通常は300～500回の完全な充放電サイクルが寿命の目安となります。使用頻度および使用時間が増加するに伴い、最大蓄電容量は徐々に低下しますが、これは正常な現象です。バッテリーの状態を定期的に確認し、充電時間が著しく長くなる、またはバッテリー寿命が著しく低下した場合は、バッテリーの交換をご検討ください。
- 12.一部の製品にはリチウム電池が搭載されています。以下は保管に関する推奨事項です：保管前にバッテリーを約50%充電してください。少なくとも6か月に一度は約50%まで充電してください。長期間にわたりメンテナンス充電を行わない場合、バッテリーは過放電により永久的な性能低下や使用不能になる可能性があります。取り外し可能なバッテリーは別々に保管してください。保管温度は0℃から40℃の範囲にしてください。
- 13.リチウム電池駆動の製品については、以下にご注意ください：
 - ・バッテリーを分解、破損、穿刺しないでください；
 - ・バッテリーは防水仕様ではありません。霧や水中に浸さないでください；
 - ・バッテリー端子の短絡を避けてください；
 - ・バッテリーを火気に近づけたり、火中に投入しないでください；
 - ・バッテリーを60℃以上の高温にさらさないでください；
 - ・子供の手の届かない場所に保管してください；
 - ・バッテリーを過度な衝撃や振動から保護してください；
 - ・破損したバッテリーは使用しないでください；
 - ・バッテリー液が漏れた場合は、液体に直接触れないでください；
 - ・バッテリー液が目に入った場合は、直ちに15分以上水で洗い流してください。まぶたを持ち上げて液体がなくなるまで洗浄し、速やかに医療機関を受診してください。
- 14.バッテリーを取り扱う際は、該当する地域のすべての法律および規制を確認し、遵守してください。

- 15.本機器全体の保証期間は1年間です。消耗品(バッテリー等)、アダプター、電源コードおよびその他のアクセサリは保証対象外です。
- 16.無断修理は保証の対象外となり、費用が発生します。
- 17.リチウム電池は受領時に状態および電力を必ずご確認ください。品質に問題がある場合は、保証期間内に Godox または正規販売店へご連絡ください。
- 18.誤操作による故障は保証対象外です。

目録

- 01 はじめに
- 01 主な特徴
- 02 部品名称
- 04 内容物一覧
- 04 電源スイッチ
- 05 CH 設定
- 05 ID 設定
- 05 GR 設定
- 06 対応カメラ (XR のみ対応)
- 07 C.Fn: カスタム機能の設定
- 08 ワイヤレススタジオフラッシュトリガーとして
- 09 ワイヤレスオリジナルカメラフラッシュトリガーとして
- 10 ワイヤレス屋外フラッシュトリガーとして
- 12 ワイヤレスシャッターリリーストリガーとして
- 13 搭載フラッシュ機能 (TTL / HSS / M)
- 14 トラブルシューティング
- 15 技術データ
- 16 ファームウェアアップグレード
- 16 メンテナンス

はじめに

ご購入いただき、誠にありがとうございます。

TTL ワイヤレス受信機 XR/XR S には、スタジオストロボ、カメラストロボ、屋外ストロボおよびシャッターリリースの遠隔トリガー用に Godox 2.4G ワイヤレス X システムが内蔵されています。複数チャンネル制御、約 100m の安定伝送距離、TTL および HSS 機能により、理想的な撮影パートナーとなります。

主な特徴

安定した伝送: ゴドックス内蔵 2.4G ワイヤレス X システム、32 チャンネル、99 ID、約 100m の遠隔伝送にて安定した信号を提供します。

ワイヤレストリガー: XR はキヤノンおよびニコンのカメラストロボに対応し、XR S はソニーのカメラストロボに対応しています。カメラストロボのホットシューに接続し、別売の Godox X3、X3Pro、XProll シリーズの C、N、または S モデルのフラッシュトリガーの使用によりワイヤレストリガーが可能です。

PC トリガー: シンクコードでスタジオストロボおよび屋外ストロボに接続し、別売の Godox X3、X3Pro、XProll シリーズの C、N、または S モデルのフラッシュトリガーの使用によりワイヤレストリガーが可能です。

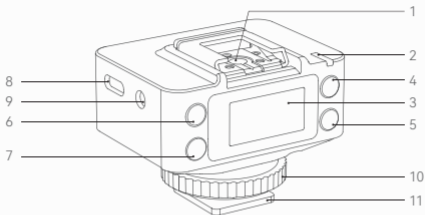
カメラシャッター制御: シンクコードでカメラに接続し、別売の Godox X3、X3Pro、XProll シリーズの C、N、S モデルのフラッシュトリガーを用いることでワイヤレストリガーが可能です。



多機能: TTL 自動フラッシュ、M マニュアルフラッシュ、HSS、セカンドカーテンシンク、FEC、最大 1/8000 秒のシャッタースピードに対応。

即時ワイヤレスシンク: ワイヤレスシンク機能搭載のフラッシュトリガーと迅速にペアリング可能。

部品名称

フラッシュ本体

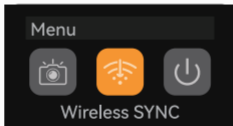


1. カメラフラッシュトリガー用ホットシュー（XRはキャノンおよびニコン製カメラフラッシュ対応、XR Sはソニー製カメラフラッシュ対応）
2. ステータスインジケータ（信号受信およびトリガー状況表示）
3. LED ディスプレイ
4. <+> ボタン（アップ / 増加）
5. <-> ボタン（ダウン / 減少）
6. <  > ボタン
7. <  > ボタン
8. USB-C ポート（充電 / ファームウェアアップグレード）
9. 2.5mm シンクコードジャック
10. コールドシュー ダイヤル
11. コールドシュー

LED ディスプレイ



メインインターフェース



メニューインターフェース

内容物一覧



レシーバー ×1



シンクコード ×1




USB-C データケーブル ×1



取扱説明書 ×1

電源スイッチ

デバイスの電源を入れる/切るには、<  > ボタンを長押ししてください。

バッテリーレベル表示

3 グリッド	フル
2 グリッド	中
1 グリッド	低
空白グリッド	バッテリー残量が低下しています。充電してください。

注意: 長期間使用しない場合は必ず電源を切ってください。

CH 設定

1. メイン画面で < $\frac{\text{SET}}{\equiv}$ > ボタンを一度押すとチャンネル設定に入り、(CH) ボックスがオレンジ色に変わります。
2. <+> / <-> ボタンを押して、チャンネルを 1 から 32 の範囲で調整できます。

ID 設定



1. メイン画面で < $\frac{\text{SET}}{\equiv}$ > ボタンを 2 回押すと ID 設定画面に入り、< ID > ボックスがオレンジ色に変わります。
2. <+> / <-> ボタンを押して、ID をオフまたは 1 から 99 の範囲で調整できます。

GR 設定

1. メインインターフェースで < $\frac{\text{SET}}{\equiv}$ > ボタンを 3 回押すとグループ設定に入り、(GR) ボックスがオレンジ色に変わります。
2. <+> / <-> ボタンを押すことで、グループを A から E まで調整できます。



注意: ワイヤレスシンク機能により、レシーバー XR/XR S はトランスミッターの CH および ID を迅速に認識できます。これはメニュー設定で利用可能です。







対応カメラ (XR のみ対応)

1. <  > ボタンを長押ししてメニューインターフェースに入ります。
2. <+>/<-> ボタンを押して<カメラ>設定に切り替えると、<カメラ>ボックスがオレンジ色に変わります。
3. <  > ボタンを押してカメラ設定インターフェースに入ります。
4. <+> / <-> ボタンで <C> と <N> を切り替えられます。
<C> はレシーバー XR がキャノン製カメラストロポに適合することを示します。
<N> はレシーバー XR がニコン製カメラストロポに適合することを示します。

注意: 受信機 XRS はソニー製カメラ用ストロポに適合しています。

C.Fn: カスタム機能の設定

メニューインターフェースに入るには <  > ボタンを長押しし、< + > / < - > ボタンで目的の機能に切り替えます。次に <  > ボタンを押してパラメーターを設定します。

アイコン	機能	オプション	説明
	カメラ (XR のみ対応)	C	キヤノン製カメラ用ストロボに適合
		N	ニコン製カメラ用フラッシュに適合
	ワイヤレス同期	キャンセル	ワイヤレス同期をキャンセル
		適用	ワイヤレスシンク機能をオンにすると、ステータスインジケータが赤色で点滅します。赤色点滅は接続中、緑色点滅は接続完了を示します。
	自動オフ	60 分	60 分無操作で自動電源オフ
		30 分	30 分無操作で自動電源オフ
		90 分	90 分無操作で自動電源オフ
		オフ	自動電源オフ機能をオフにする
	言語	簡体字中国語	簡体字中国語システム
		英語	英語システム
	リセット	キャンセル	工場出荷時設定リセットをキャンセル
		適用	工場出荷時設定リセット
	情報	/	現在のモデルおよびバージョンを確認

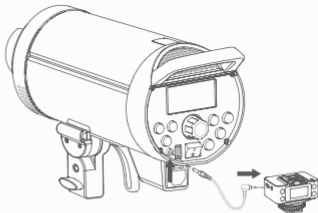
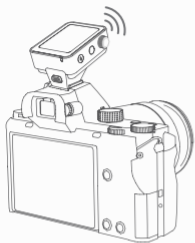
ワイヤレススタジオフラッシュトリガーとして

フラッシュトリガー X3Pro を例に説明:

1. カメラおよびフラッシュトリガーの電源をオフにし、フラッシュトリガーをカメラのホットシューに装着してください。その後、両方の電源をオンにします。
2. スタジオフラッシュおよび XR/XR S の電源を切り、XR/XR S の 2.5mm シンクポートとスタジオフラッシュのシンクポートをシンクコードで接続してください。その後、両方の電源を入れてください。
3. メイン画面でフラッシュトリガーの画面を上から下にスライドし、<Flash Control> を押し、フラッシュコントロールモードに入り、<Wireless> を押し、チャンネルと ID を設定してください。その後、<Wireless Sync> を押し、チャンネルと ID を設定してください。
4. XR/XR S の < $\frac{\text{SET}}{\equiv}$ > ボタンを長押ししてメニュー画面に入り、<+>/<-> ボタンで <ワイヤレスシンク> に切り替えてから、< $\frac{\text{SET}}{\equiv}$ > ボタンを押して <適用> を選択してください。チャンネルおよび ID は自動的にフラッシュトリガーと同一に設定されます。
5. カメラのシャッターを押してトリガーしてください。XR/XR S およびフラッシュトリガーのステータスインジケーターが同時に赤く点滅します。

注意:

1. ワイヤレスシンク機能のないフラッシュトリガーを使用する場合は、フラッシュトリガーとレシーバー XR/XR S のチャンネルおよび ID を手動で同一に設定する必要があります。
2. X3Pro は別売りです。また、XR または XR S に対応したモデルをお選びください。



ワイヤレスオリジナルカメラフラッシュトリガーとして

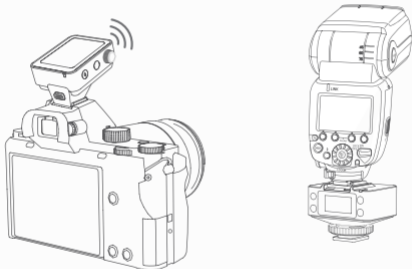
フラッシュトリガー X3Pro を例に説明:

1. カメラおよびフラッシュトリガーの電源をオフにし、フラッシュトリガーをカメラのホットシューに装着してください。その後、両方の電源をオンにします。
2. カメラ純正フラッシュおよび XR/XR S の電源を切り、キャノン/ニコン/ソニー純正カメラフラッシュを XR/XR S 上のカメラフラッシュ用ホットシューに装着してください。その後、電源を入れてください。
3. 上記の「ワイヤレススタジオフラッシュトリガーとして」の項を参照し、フラッシュトリガーを <Flash Control> モードに設定してください。次に、XR/XR S およびフラッシュトリガーのチャンネルおよび ID を、ワイヤレスシンク機能で同一に設定してください。
4. カメラのシャッターを押してトリガーしてください。XR/XR S およびフラッシュトリガー

のステータスインジケーターが同時に赤く点滅します。

注意:

1. ニコンおよびソニー純正カメラフラッシュは、フラッシュトリガーのモードを問わず必ず TTL オートモードに設定してください。
2. XR/XR S は、ゴドックスのフラッシュトリガー X3 S、X3Pro S、XProII S と組み合わせてご使用ください。オールシューモードは使用しないでください。

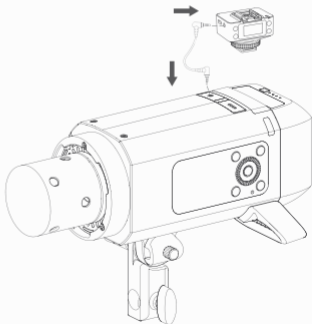
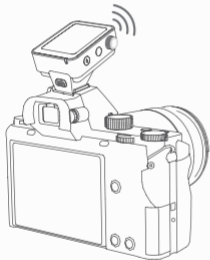


ワイヤレス屋外フラッシュトリガーとして

フラッシュトリガー X3Pro を例に説明:

1. カメラおよびフラッシュトリガーの電源をオフにし、フラッシュトリガーをカメラのホットシューに装着してください。その後、両方の電源をオンにします。

2. 屋外フラッシュおよび XR/XR S の電源を切り、XR/XR S の 2.5mm シンクポートと屋外フラッシュのシンクポートをシンクコードで接続してください。その後、電源を入れてください。
3. 上記の「ワイヤレススタジオフラッシュトリガーとして」の項を参照し、フラッシュトリガーを <Flash Control> モードに設定してください。次に、XR/XR S およびフラッシュトリガーのチャンネルおよび ID を、ワイヤレスシンク機能で同一に設定してください。
4. カメラのシャッターを押してトリガーしてください。XR/XR S およびフラッシュトリガーのステータスインジケータが同時に赤く点滅します。



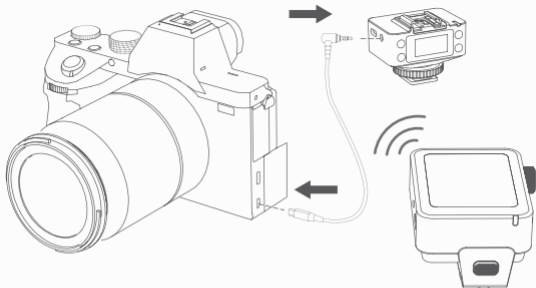
ワイヤレスシャッターリリーストリガーとして

フラッシュトリガー X3Pro を例に説明:

1. カメラおよびフラッシュトリガーの電源を切り、XR/XR S の 2.5mm シンクポートとカメラの外部シャッターポートをシンクコードで接続してください。その後、電源を入れてください。
2. フラッシュトリガーのメインインターフェースで画面を上から下にスライドし、<Shutter Control> を押してシャッターコントロールモードにしてください。
3. 上記の「ワイヤレススタジオフラッシュトリガーとして」の項を参照し、XR/XR S およびフラッシュトリガーのチャンネルと ID を、ワイヤレスシンク機能で同じに設定してください。
4. フラッシュトリガーで DELAY/LONG/INTVL1/N1/INTVL2/N2 を設定し、<Start> を押してカメラのシャッターを起動させてください。XR/XR S およびフラッシュトリガーのステータスインジケーターが同時に赤く点滅します。

注意:

1. フラッシュトリガーの <Test/Shutter> ボタンを半押しするとカメラのオートフォーカス機能が作動し、全押しするとカメラのシャッターを起動させて撮影します。
2. 外部シャッターポートの仕様はカメラによって異なる場合があり、対応する専用のシンクコードを別途ご用意いただく必要があります。



搭載フラッシュ機能 (TTL / HSS / M)

レシーバー XR/XR Sは、トランスミッターから対応フラッシュユニットおよびカメラへの複雑なコマンドを伝達する高性能な信号中継装置です。

注意: 高度な機能をご利用になる場合は、カメラからフラッシュまでの信号経路上のすべての機器が該当機能に対応していることを必ずご確認ください。

- TTL オートフラッシュ: TTL 信号を完全に伝送し、自動発光および測光を実現します。
- ハイスピードシンクロ (HSS) : 最大 1/8000 秒のシャッタースピード (カメラおよびフラッシュ両方が対応している必要があります)。
- M マニュアルフラッシュ: マニュアルでの出力パワー設定が可能です。

- ・セカンドカーテンシンクロおよびフラッシュ露出補正 (FEC) は、トランスミッターおよびカメラにより利用可能な場合があります。

トラブルシューティング

動作不良	考えられる原因	解決方法
フラッシュが発光しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. チャンネル / グループ / ID 設定が一致していません。 2. レシーバーまたはトランスミッターのバッテリー残量が低下しています。 3. レシーバーの電源が入っていません。 4. フラッシュが確実に装着されていない、またはシンクケーブルが緩んでいます。 5. 有効範囲外です。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. トランスミッターとレシーバーのチャンネル、グループ、ID 設定が同一であることを確認してください。 2. レシーバーおよびトランスミッターの充電を行ってください。 3. レシーバーの電源を入れてください。 4. フラッシュを再装着するか、シンクケーブルの接続状態を確認してください。 5. トランスミッターとレシーバーの距離を 100メートル以内にしてください。
接続が不安定	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他の 2.4GHz 機器 (Wi-Fi ルーター等) による電波干渉。 2. バッテリー残量が少ない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 別のチャンネル (1 ~ 32) へ切り替えてお試しください。 2. 機器を充電してください。
ディスプレイが暗い、または表示しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. バッテリー残量がありません。 2. レシーバーの電源が入っていません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. レシーバーを充電してください。 2. レシーバーの電源を入れてください。
HSS 使用不可	<ol style="list-style-type: none"> 1. カメラ、フラッシュ、またはトランスミッターが HSS モードに設定されていません。 2. HSS に対応していないフラッシュを使用しています。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号経路上のすべての機器で HSS 機能が有効になっていることを確認してください。 2. ご使用のフラッシュモデルがハイスピードシンクに対応しているかご確認ください。

技術データ

モデル	XR	XR S
対応フラッシュモデル	キヤノン: 600EX-RT、600EX II-RT、580EX II、580EX、430EX II、430EX III ニコン: SB900、SB910、SB5000、SB800 (カメラフラッシュは TTL モードに設定してください)	ソニー: HVL-F60M、HVL-F43M、HVL-F60RM2 (カメラフラッシュは TTL モードに設定してください)
内蔵リチウムバッテリー	3.87V/1270mAh/4.915WH	
トリガー回数	約 84,000 回 (バッテリー満充電時)	
充電時間	約 2 時間 6 分	
待機時間	約 41 時間	
バッテリーレベル表示	√	
ファームウェアアップグレード	USB Type-C ポート経由	
ディスプレイ画面	0.96 インチ TFT カラーディスプレイ	
伝送距離	約 100m	
内蔵ワイヤレス	2.4GHz	
チャンネル	32 (1-32)	
ID	OFF、1-99	
グループ	A-E	
寸法	2.11"X1.67"X1.64"	
質量	約 65g	

仕様およびデータは、予告なく変更される場合があります。

ファームウェアアップグレード

ゴドックスは新しいカメラへの対応や不具合修正、新機能追加のために定期的にファームウェアアップデートを提供しています。ファームウェアを定期的に確認し、更新することは、機器の長期的な互換性および安定性を確保するための重要な保守手順です。

- ・ 本機器は USB-C ポート経由でのファームウェアアップグレードに対応しています。アップデート情報は当社公式ウェブサイトでご案内いたします。
- ・ ファームウェアのアップグレードには USB-C ケーブルを使用してください。
- ・ ファームウェアのアップグレードにはゴドックス G3 ソフトウェアが必要です。アップグレードの前に、ゴドックス公式ウェブサイト (<https://www.godox.com.cn/firmware-G3/>) からソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。その後、該当するファームウェアファイルを選択してください。
- ・ 最新版の電子版取扱説明書をご参照ください。

メンテナンス

落下を避けてください。強い衝撃や振動は、本機器の誤作動を引き起こす可能性があります。乾燥した状態を保ってください。本製品は防水仕様ではありません。本製品が水に浸ったり、高湿度にさらされた場合、故障やサビ、腐食が生じ、修理不可能となる可能性があります。

急激な温度変化を避けてください。冬季に高温な建物から屋外へ本製品を持ち出すなど、急激な温度変化が生じる状況では、結露が発生することがあります。事前に本製品をハンドバッグまたはビニール袋に入れてください。

強い磁気を帯びた場所から遠ざけてください。ラジオトランスミッター等の機器による強い静電気や磁場は、故障の原因となります。仕様およびデータは、予告なく変更される場合があります。

注意: 本製品が故障した場合や水濡れした場合は、継続使用前に有資格技術者による修理が必要です。

製品保証

お客様各位、本保証書は当社のメンテナンスサービス申請時の重要な証明書となりますので、販売店とともに必要事項をご記入の上、大切に保管してください。よろしく願い申し上げます。

製品情報	モデル	製品コード番号
お客様情報	氏名	連絡先番号
	住所	
販売店情報	氏名	
	連絡先番号	
	住所	
	販売日	
注意		

注：本用紙は販売者によって封印されなければなりません。

対象製品

本書類は、製品メンテナンス情報に記載されている製品に適用されます（詳細は下記をご参照ください）。他の製品またはアクセサリー（例：販促品、景品、付属の追加アクセサリー等）は、本保証の対象外です。

保証期間

製品およびアクセサリーの保証期間は、関連する製品メンテナンス情報に基づき実施されます。保証期間は、製品を初めて購入した日（購入日）から算定され、購入日は製品購入時に保証書に登録された日付と見なされます。

メンテナンスサービスの受け方

メンテナンスサービスが必要な場合は、製品販売代理店または認定サービス機関へ直接ご連絡ください。また、ゴドックスのアフターサービスコールにもご連絡いただければ、サービスをご提供いたします。メンテナンスサービスを申請する際は、有効な保証書をご提示ください。有効な保証書をご提示いただけない場合でも、製品またはアクセサリーがメンテナンス対象であることが確認できた場合には、メンテナンスサービスをご提供する場合がありますが、これは当社の義務とはみなしません。

適用除外の場合

本書による保証およびサービスは、以下の場合には適用されません：①製品または付属品の保証期間が満了している場合；②不適切な使用、保守、または保管（不適切な梱包、不適切な使用、不適切な外部機器の接続・取り外し、落下または外部からの圧力、不適切な温度、溶剤、酸・アルカリ、浸水や多湿環境への接触もしくは曝露等）による破損または損傷；③非認定機関による破損または損

傷または、設置、保守、改造、増設および取り外し作業中の担当者による場合；
④製品または付属品の元の識別情報が改変、変更、または削除されている場合；
⑤有効な保証書がない場合。⑥違法に認可された、非標準または未公開ソフトウェアの使用による破損や損傷。⑦不可抗力または事故による破損や損傷。⑧製品自体に起因しない破損や損傷。上記の状況に該当する場合は、関連する責任者にご相談ください。ゴドックスは一切の責任を負いません。保証期間または保証範囲外の部品・付属品・ソフトウェアによる損傷は、当社のメンテナンス対象外となります。通常の変色、摩耗および消耗は、メンテナンス対象の破損には含まれません。

メンテナンスおよびサービスサポート情報

製品の保証期間およびサービス種別は、以下の「製品メンテナンス情報」に基づき実施されます。

部品	メンテナンス期間(月)	保証サービス種別
内部回路基板	12	お客様による指定拠点への製品送付
その他項目(ケーブル、パッケージなど)	いいえ	保証なし